



進路だより

12月号
進路指導部
R6.12.24発行

変わる入試の内容に向けて～頑張れ受験生



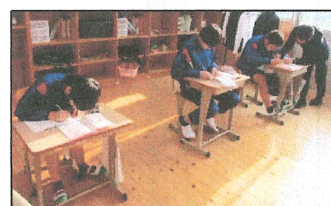
11月5日、熊本県教育委員会ホームページに2つの記事がアップされました。一つは令和7年度(2025年度)熊本県立特別支援学校高等部等の募集定員、もう一つは令和7年度(2025年度)熊本県立特別支援学校高等部入学者選抜検査(八代市立八代支援学校を含む)における自校が重視する観点に応じた個別検査についてです。

入試の内容が大きく変わるという新聞などの報道を受け、中学部3年生の生徒・保護者・担任は、ドキドキが高まったのではないのでしょうか。記事を読むと、個別検査については、学校名・学科・重視する観点・検査内容等が書かれていました。学校・学科は盲学校や熊本聾学校などを含む特別支援学校の重複障がい学級が多く掲載され、検査内容は、個別の面接や作文、学習成果発表などで、時間も様々でした。統一された一律の課題に取り組むのではなく、中学校等で頑張ってきたことの発表をこれまで使用してきた教材・教具で行うことができるようになりました。当日は引率教職員が発表の支援を行うことができます。

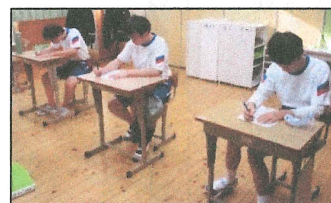
これまでの学習の成果や積み重ねを、自信を持って発表できる機会を持つことができるということは、とてもよいことと思います。今後は決められた時間の中で、発表の内容や流れを考えたり、練習をしたりして検査当日を迎えたいと思います。今後も新たな情報がアップされるかもしれません。アンテナを高くして、情報収集に努めると共に、毎日の基礎・基本的な学習を大事にし、入試に対応できる確かな力を育成していきたいと思います。頑張れ受験生！尚、各学校の詳しい情報は、県教育委員会ホームページをご覧ください。



【スイッチ操作】



【朝自習】



【朝自習】

(文責 中学部:徳田)

「就職をして必要と感じた能力等」

先日、ハローワーク八代・水俣との連絡会議があり、参加してきました。その中で配付された資料の中に、「ハローワークにおける新規高卒者の職場適応指導調査結果」がありました。これは、熊本県のハローワークが、令和6年3月に高校を卒業して熊本県内の事業所(会社)に就職した方を対象にアンケート調査を行ったものです。ハローワークを通して就職された方への職場定着を支援する取組の一つとして行われており、困りごとがある方には連絡を取って対応されているそうです。

アンケート項目の一つに「就職をして必要と感じた能力等」※がありました。必要と感じた方が多い順に、「コミュニケーション能力」「ビジネスマナー、礼儀、身だしなみ」「言葉遣い(敬語)、接遇」とあります。年齢に関係なく取り組むことができ、毎日の生活を通して少しずつ身につけていくものが多いようです。できることから、できる方法で取り組んでいってはどうでしょうか。

※ 裏面にアンケート結果を印刷しています

(文責 高等部:松岡)